

◆令和3年度ふくしま元気トーク（2/18開催）：「地域経済の未来を考える～ふくしまの地域創生を語る！～」意見対応状況					
No.	意見・提案内容	実施区分	担当課コメント	所管部名	担当課名
1	さんどパークや、児童公園があるのですが、全体的に見ると数が、福島市民の人口に対して少ないのかなと考えています。	現在実施中	こどもの遊び場としては、郊外に今年4月にオープンした道の駅くしまの屋内こども遊び場をはじめ、近くには十六沼公園があります。また、四季の里やあづま総合運動公園など、多くのプレイスポットや憩いの場がありますので、ぜひご利用ください。街なかのこども遊び場は、駐車場や場所の確保など課題がありますが、ご意見を今後の施策検討の際の参考とさせていただきます。	こども未来部	こども政策課
2	どこに定住しようと考えたとき、子どもの成長の可能性が広がるような都市に住みたいと思っており、子どもの教育環境、例えば、放課後教育だと土日だとか、子どもの成長の可能性を広げるような事業に取り組んでいますみたいなものを発信したら、住みたいと思う方は増えるのかなと思います。	現在実施中	発達段階に応じて、家庭学習でもタブレットを活用して学習を進めております。本市の学校でのICT教育については、児童生徒、一人一台の学習用タブレット端末が令和3年4月から本格的に運用がはじまっていますが、子どもたちにとってタブレット端末は筆記用具のように当たり前に使える道具になってきています。また、インターネットを介した課題の配布・回収やウェブ会議システムを使った同時双方向型のオンライン授業が行える環境を構築し、緊急時においても子どもたちの学びを止めないために、タブレットを活用した家庭学習支援も行ってまいります。	教育委員会事務局	教育研修課
3	幼稚園・保育園の現況届を市役所や支所に届けに行くことが前提で送付されると負担に思っています。窓口に行かなくても郵便やウェブでいいというのがスタンダードになると良いと思います。また、保育園の入園決定通知が2月にならないと分からないことが、親自身の就業機会や、小規模企業の雇用主側としても継続雇用の判断などにも関わってきますし、入園通知は早いだけないものかなと思ったことがあります。	現在実施中	【現況届の郵便・ウェブ提出について】 現在のところ、福島市における現況届の提出は、原則として通所している園を通じご提出をいただいています。 園では現在、マイナンバーカードを利用した「びったりサービス」により、ウェブを通した電子申請窓口の整備を進めているところであり、福島市では、今年度末にも電子申請の環境が整備される予定となっております。 【入所決定通知の早期発出について】 次年度4月の保育施設入所につきましては、例年11月末頃を一次受付の申込締切としております。入所決定のご案内は、令和2年までは2月後半にお送りしていましたが、AIの導入により作業時間を短縮し、令和3年入所からは半月ほど前倒した1月末にお送りできるようにしました。 なお、申込受付から入所決定の間には、各施設との調整を図る期間など時間短縮が困難な過程もございますが、今後も早期の入所決定通知発出に向けた業務の改善を図ってまいります。	こども未来部	幼稚園・保育課
4	・人口減少の課題に対して、人が住むためには、働く場所がないといけないと思っております。既存の会社を応援すること、新しい産業を呼び込んでくるということが必要だと考えています。コロナがあったことにより、首都圏でなくても仕事ができた、いろんな面でコストがかからなかったり、伸び伸び暮らせたりと、地方の優位性が上がっていると思っています。 ・コロナ禍で在宅勤務とかテレワークとか、どこにいてもいろんな仕事ができるという流れになってきていると思いますので、産業の誘致とデジタル化というところを特化して取り組んでいただいて、福島にいるから諦めようという若者が少なくなる福島市になってほしいなと思っております。	実施済み	・令和4年4月1日、コラッセくしま2階に新たな働き方に対応したビジネス交流拠点としてクリエイティブビジネスサロン（CBS）を開設（※）し、ポストコロナ時代に対応した個人や企業のテレワーク、首都圏等からのサテライトオフィスの受け皿、チャレンジ意欲の高い起業家やフリーランス、若手や女性の創業・起業を推進することで、新たなビジネススタイルを支援しております。 ・令和4年6月から、新たに「街なか再生リノベーション事業」をスタートし、街なかに「創業ゾーン」を形成しクリエイティブ産業を集積させることで、クリエイティブな人たちの交流あるいは既存産業の高付加価値化やイノベーションの誘発など、将来を見据えた持続可能な産業の振興を図っています。	商工観光部	商工業振興課
		現在実施中	コロナ禍における本社・支社機能の地方移転やテレワークなど導入する機運の高まりを受け、オフィス移転や移住定住を促進させるため「ゆとり満喫福島オフィス開設支援補助金」を設けてクリエイティブ系を含めた企業誘致に取り組んでいます。	商工観光部	企業立地課
5	デジタル化という部分で、窓口で高齢の方もいらっしゃるのですが、どんどんとデジタル化が進んでいるのですが、なかなか進めない方もいらっしゃるのも現実です。いかにデジタル化になじみにくい人が扱いやすく簡便にできるかが福島市だけでなく、我々企業としても必要なかなと感じております。	現在実施中	これまで、デジタル活用が不得手な高齢者等を対象にデジタル活用支援講座を実施するとともに、高齢者等が困った時に近くで相談できるシニアICTリポーターを育成する講座を実施しています。 また今年度は9月下旬から、当初予算の範囲を大幅に拡充して、市内に店舗を持つ携帯キャリアのスタッフが講師、大学生等がリポーターとなり、高齢者等のスマートフォン利活用などをサポートする「世代間デジタル交流講座」を市内全域で行っていきます。 さらに、7月11日に、官民が一体となって地域全体のデジタル化を推進し、市民一人ひとりが、デジタル化の便利さや豊かさを実感できる社会を実現することを目的に「ふくしまデジタル推進協議会」を設立したところです。	政策調整部	デジタル改革室
6	幼・小・中・高の現在福島市にいる学生たちを福島市の地元愛に根付かせることができないのかというふうに考えています。イベントごとにもっと大きいものを作る地元愛が根付くのではないかなと思います。	現在実施中	「ふくしまシティハーフマラソン」について、令和4年6月に実行委員会を設立し、令和5年5月の開催に向けて準備を進めているところです。このマラソン大会は、福島市民のみならず全国から多くのランナーに参加していただけるよう、市内関係団体と連携しながら福島市の魅力を感じてもらえる大会を目指します。	市民・文化スポーツ部	スポーツ振興課
7	パークアンドライドについて、使ってみたことがあるのですが、利用した当時は、周知がまだされておらず盛り上げてほしかったなというところが正直ありました。	現在実施中	1 昨年度同様に下記の広報を実施中 ・市政だよりへ記事掲載 ・支所・学習センター等市関連施設でのポスター掲示やチラシ配布 ・市HP・SNSへの情報掲載 ・ラジオ放送 ・福島駅東口・西口ビジョンへの情報掲示 2 今後の新しい広報活動として、下記を準備中 ・新デザインのチラシ作成 ・CJ MonmoへWEB広告掲載及びSNSによる情報発信	都市政策部	交通政策課